



令和6年度 全国学力学習状況調査の結果を受けて

4月に3年生が行った「全国学力・学習状況調査」の主な結果についてお知らせいたします。

【学力調査】(県・全国平均 ◎上回っている ○ほぼ同じ △下回っている)

教科	観点	県平均比較	全国平均比較
国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	△	△
	情報の扱い方に関する事項	△	△
	我が国の言語文化に関する事項	◎	◎
	話す・聞く能力	◎	◎
	書く能力	◎	◎
	読む能力	△	△
評価の観点	知識・技能	◎	◎
	思考・判断・表現	◎	◎
数学	数と式	△	◎
	図形	△	△
	関数	◎	◎
	データの活用	△	◎
評価の観点	知識・技能	◎	◎
	思考・判断・表現	△	△

※国語「話すこと・聞くこと」「書くこと」は、県・全国平均をかなり上回っている。

《国語の分析》○成果●課題・今後の取組

- 文章全体と部分との関係に着目し、主張と例示との関係をとらえることができている。
- 資料や文章から自分が考えたことが伝わる文章を構成し、書いたりすることができている。
- 文章と図とを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈することを苦手としている。
- 文章の表現技法についての知識の定着が十分でない。
- 目的に応じて必要な情報に着目して要約することを苦手としている。

・文章の構成に着目して読むことを継続するとともに、それらに用いられている表現技法の知識の定着に力を入れる。また、自分の思いや考えを分かりやすく伝える経験を重ねる。文章同士だけではなく、文章と図表とを関連付けて読み取り書いたりする活動を行う。文章から必要な情報を選択して要約する活動を意識し、自分の主張を確実に話したり、伝えたりする力の向上を目指す。

《数学の分析》○成果●課題・今後の取組

- 「関数」の領域において、県・全国を上回っている。特に、情報量の多い関数の文章問題で、情報を取捨選択して、実生活と結びつけながらグラフを読みとることができている。
- 「知識・技能」の観点において、県・全国を上回っている。特に、一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解している。さらに、簡単な場合についての確率を求めることができる。
- 「図形」の領域において、図形の性質を考察する場面では、予想した事柄が成り立つことを筋道を立てて考え、証明することを苦手としている。また、問題解決の過程や結果を振り返って新たな性質を見出すことを苦手とし、無解答率が高い。
- 問題解決の方法や判断の根拠を数学的な表現を用いて説明することを苦手としている。

・実生活の中で身に付けた知識・技能がどのような場面で利用されているのかを具体的に示す授業を展開する。

・毎時間の授業において、前時・本時・次時のつながりを明確にしたり、生徒がまとめを行ったり、振り返りの時間を長めに確保したりすることで、自分で問題を解決し、自分で新しい発見をする意識が持てるようにする。

【学習状況調】(県・全国平均 ◎上回っている ○ほぼ同じ △下回っている)

項目	県平均比較	全国平均比較
国語への関心	◎	◎
数学への関心	△	△
総合的な学習への取組	◎	◎
生活習慣	◎	◎
自尊感情	◎	◎
規範意識	○	○
言語活動・読解力	◎	◎
学習習慣	△	△

《国語への関心》

「国語の勉強は好き」「国語の授業内容はよく分かる」と答える生徒が、県・全国平均を大きく上回った。「国語の勉強は大切だと思う」「将来、社会に出たときに役に立つ」と、肯定的に答える生徒が、県・全国平均を上回った。



《数学への関心》

「数学の勉強は好き」「授業の内容はよく分かる」と答える生徒は、県・全国平均を下回った。「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答える生徒が、県・全国平均を上回った。



《総合的な学習への取組》

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組む」と答える生徒は、県・全国平均を上回った。

地域の方からの協力を得て行う「地域交流」や、天城学習でスキルを身に付けている。

(天城中学校89.7平均84.9 全国平均82.2)

《生活習慣》

「毎日、同じ時間に寝ている」と答える生徒が、県・全国平均を下回っているものの、「毎日、同じ時刻に起きている。」と答える生徒は、県・全国平均をかなり上回った。さらに、「朝食を毎日食べている」と答える生徒は、県・全国平均を上回っている。生活習慣で大切なのは、「は・は・あ・う」早寝・早起き・朝ご飯・排便である。

《自尊感情》

「先生は、あなたのよいところを認めてくれる」「自分には、よいところがある」と答える生徒は、県・全国平均を上回った。また、「学校へ行くのは楽しい」と答える生徒が、県・全国平均をかなり上回った。「将来の夢や目標を持っている」と答える生徒は、県・全国平均をやや下回ったが、本校の課題である自尊感情は高まっている。

《規範意識》

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答える生徒は、県・全国平均と同じであった。「人が困っているときは、進んで助けますか」という質問では、県・全国平均を大きく上回った。

《言語活動・読解力》

「話題や展開を捉えながら話し合い、互いの意見を結びつけて考えまとめている」と答える生徒は、県平均を大きく上回り、さらに全国平均も上回った。

(天城中学校92.3 県平均81.0 全国平均80.5)

《学習習慣》

「学校の授業時間以外に、(平日・休みの日)1日当たりどれくらいの時間勉強するか」について、県平均・全国平均よりも家庭学習の時間が短い。本校生徒で、もっとも多かったのが、平日では1時間以上2時間未満、休日は2時間以上3時間未満である。

「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思いますか」という質問では、県・全国平均を大きく上回りました。

(天城中学校92.3 県平均84.4 全国平均84.9)

《学校より》

数学、英語で行われている少人数学習やチームティーチング、学習相談の時間を生徒がうまく活用していると考えられます。さらに、本校は家庭学習の充実に繋がりたいと考え、各教科から出される課題の工夫、より主体的な学習の取組となるように指導していきたいと思ひます。



学校が楽しく、自尊感情の高まりにつながるよう、生徒に寄り添う指導を目指していきます。